

# まちの話題

## クロスロード文化研究会講演会



3月14日、小郡市埋蔵文化財調査センター研修室で、クロスロード文化研究会講演会が開かれました。講師は、方言に詳しい福岡女学院大学の二階堂整(ひとし)先生です。

小郡・鳥栖・基山は大きく見ると、よく似た方言ですが、それでも違いがあるとのこと。一例として、次のような言い方があります。

「取ってください」は⇒小郡では「とっちくれんの」、基山では「とってくれんな」、鳥栖では「とってくんさい」と言います。

ところが二つの地域で同じ言い方をすることもあります。一例をあげれば次のようになります。

「連れだって」は⇒小郡と基山では「つんのーて」、鳥栖では「つれーして」と言います。

このような方言は、かつて江戸時代の藩の違いが大きな原因となっています。県が違って、基山は小郡に近いというとても興味深いことがわかりました。これからもクロスロード文化研究会では、様々な文化の共通点や違いについて講演を行うことにしています。

## 小郡市消防団第2分団が2部制へ移行しました



消防団第2分団が4月1日より2部制に移行しました。

第2分団は、三国小学校とのぞみが丘小学校の2校区を管轄していましたが、特にのぞみが丘小学校区の人口が増加したことに伴い、新たな防災の拠点施設が必要となりました。

そのため、現在の2分団を2部制とし、美鈴が丘公民館の隣に第

2分団2部の消防車と格納庫を新たに建設し、団員18人が配置されました。

2部制の移行により、のぞみが丘小学校区での災害に対し、より迅速な対応が期待されます。

## 九州国立博物館「あじっば」がやってきたよ!!

アングルンを鳴らしている様子



◀文字絵の制作風景

九州国立博物館の出前講座が3月14日、文化会館で行なわれました。

同博物館のスタッフやボランティアの方々が協力して「地域の親子にアジアの国々の文化を体験学習する場を提供する」というユニークな講座です。インドネシアの楽器・アングルンを演奏したり、韓国の民族衣装を着たり、日本の紋切り遊びを体験しました。

当日は短時間の開催でしたが、100名以上の方が参加され、子どもたちだけでなく、お父さん、お母さんも童心に返って各コーナーの催しを楽しんでいました。

## 西鉄小郡駅にエレベーターが設置されました

駅のバリアフリー化を図るため、国と小郡市からの補助を受け、エレベーターが設置されました。設置場所は、北出口「1階(地上階)～2階(改札口前)」と上下線のプラットホームの計3箇所です。どうぞご利用ください。



▲北出口「1階(地上階)～2階(改札口前)」エレベーター

詳しくは、西日本鉄道ホームページへ  
<http://www.nishitetsu.co.jp/>